

Istanbul Weekly vol.4-no.20

イスタンブール ウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2015年6月5日（金）

— 今週のポイント —

- 政治**：イスタンブール征服記念集会、AKP 選挙集会の様相を呈する。
総選挙後のシナリオ。
総選挙：全国各地の終盤情勢。
- 軍事**：ISIL、トルコのキリス県国境にも迫る。
トルコ艦隊が最終目的地和歌山県に到着、エルトゥールル号追悼式典挙行。
- 経済**：5月の輸出、前年同期比19%減少。
OECD 経済見通し：2015年の経済成長率予想3.1%に修正。
- 治安**：MIT トラック捜索時の画像がスクープ流出。政権側は猛反発。
PKK 指導者へのインタビュー。
- 社会**：イズミット湾（キョルフェズ）の両岸が年末につながる。
イスタンブールは最も観光客が訪れる都市世界第5位。

政治

【総選挙関連】

- イスタンブール征服記念集会、AKP 選挙集会の様相を呈する
5月30日、イスタンブール市内で、1453年のメフメット2世によるイスタンブール征服の562周年記念が開催され、エルドアン大統領、ダーヴトオール首相らが出席。エルドアン大統領は、ニューヨークタイムス紙の自らへの批判記事などに激しく反発し、「次なる征服は、6月7日（投票日）だ。」と訴えて熱情的な大歓声を浴びるなど、「選挙は新たな征服」と打ち上げ、AKPの実質的な選挙集会の様相を呈していた。（5月31日付M紙1面、6月4日付INYT紙1～2面）
- 在外投票総数、前回比大幅増で100万人超え
5月31日、全世界の在外公館等での在外投票が締め切られ、全在外有権者約286万人の内、約103万人が投票（在外投票率約36%）したことが判明。現在も国境検問所等で投票は継続するため更に上乘せされる見込みで、最終的な全投票数の5%程度を占める可能性も。前回2011年総選挙での256万人の在外有権者に対する投票数12万7千人（在外投票率5.03%）から大幅に増加した。（6月4日付H紙16面）
- エルドアン大統領、党の「実権型大統領制」アピールに不満
3日、エルドアン大統領は民放番組に出演し、司会者から「AKPの選挙戦を通じて実権型大統領制が十分に有権者に強調されていると感じるか」との質問に対し、「強調されているとは言えない」と不満を述べた。また、これまでの選挙戦全体について「残り4日でもう少し盛り上がりを見せるだろうが、これまでの選挙に見られたような興奮が見られない。」と述べた。（6月4日付H紙24面）
- 国内の選挙監視NGOの動きも活発化
2013年のゲジ公園での抗議活動後に発足したNGO団体「投票とその先へ」は、6月7日の投票日に45県162郡で、約7

万人の選挙監視ボランティアを派遣する方向。同団体は、運営資金の75%を寄付金から賄うとともに、ノルウェーやオランダからも支援を得ている。（6月4日付HD紙6面）

【参考論調】

●総選挙後のシナリオ

エルドアン大統領の望むシナリオは、HDPが10%の足り条件を超えられず、MHPとCHPも伸び悩み、AKPが憲法改正可能な330議席に達すること。実権型大統領制の移行に弾みがつく。一方で、ダーヴトオール首相の望むシナリオは、HDPの得票に関わらず、AKPが300から330議席程度に収まること。この場合、ダーヴトオール首相は惨敗を回避できるため、なんとか首相に留まることはできるが、エルドアン大統領にとっては満足のいく結果ではなく、首相に連立政権による330議席の確保に向けた仕事を命じるか、早期総選挙の実施を決定させることになるだろう。

他方で、HDPが10%を超え、AKPがかりうじて過半数の276議席を確保するような場合、AKPの政治的影響力は低下。エルドアン大統領の怒りは大きく、ダーヴトオール首相は早期総選挙の実施を目指す他ない。AKPが過半数割れした場合も、大統領制を実現しえるような連立政権の発足は見込めず、早期総選挙に向かう公算だ。（6月2日付HD紙：ムラット・イェキン編集長）

●総選挙：全国各地の終盤情勢

(1)ムーラ（定数6。前回総選挙：CHP3、AKP2、MHP1）
屈指の観光リゾート地は、全体的に総選挙の熱気が薄い。有権者の口も重い印象。エーゲ海地域ではイズミルに次ぐCHPの牙城で、前回3議席からの積上げを狙う。AKPは前回得票率（32.9%）から落とす見方が大半。MHPは勢いがあるも現状維持（1議席）か。HDP基礎票は2%程度だが、各陣営は行方

に注目。

(2)コンヤ(定数 14。前回総選挙 AKP11、MHP2、CHP1) 従来「開票前から結果が明らか」と言われる程の AKP 王国。しかも今回は、ダーヴトオール首相を擁立するだけに AKP は一層強気。鍵を握るのは県の主力産業・農業層の小麦価格の低下に伴う不満の行方か。MHP は若者層の支持に勢い。HDP は初の議席獲得を伺う。

(3)シールト(定数 3。前回総選挙:AKP2、無所属 1) 南東部の小規模県だが、エミネ・エルドアン大統領夫人の出身地として AKP は注力。人口 17 万人の内、約 2.5 万がアラブ系で残りがクルド系。アラブ系は AKP 支持傾向が強く、クルド系は AKP、HDP 支持が拮抗。AKP 関係者は、PKK が有権者の HDP への投票を強要していると非難。CHP と MHP は存在感を発揮できていない。

(4)マルディン(定数 6。前回総選挙:AKP3、無所属 3) 前回総選挙で AKP と HDP(当時は無所属)が拮抗した地。人口の 35%を占めるアラブ系は今回も AKP を支持する傾向。しかし、候補者への不満や不正事件も響き、AKP が全体的に伸び悩むとする見方は少なくない。HDP が CHP 票の一部を上手く取り込めた場合は 4 議席獲得も視野。CHP と MHP の議席獲得可能性は低い。

(5)ガーズィアンテップ(定数 12。前回総選挙 AKP9、CHP2、MHP1) かつては CHP の牙城であったが、今は見る影もない。AKP が

大きな優位を保つが、シリア難民問題や周辺国との貿易縮小といった現状に対する不満も大きい。投票態度を決めていない有権者が多く、情勢は流動的。パフチュリ MHP 党首とダーヴトオール党首の週末にかけた最後の来県が鍵を握る。

(6)イズミル第 2 選挙区(定数 13。前回総選挙 CHP7、AKP5、MHP1)

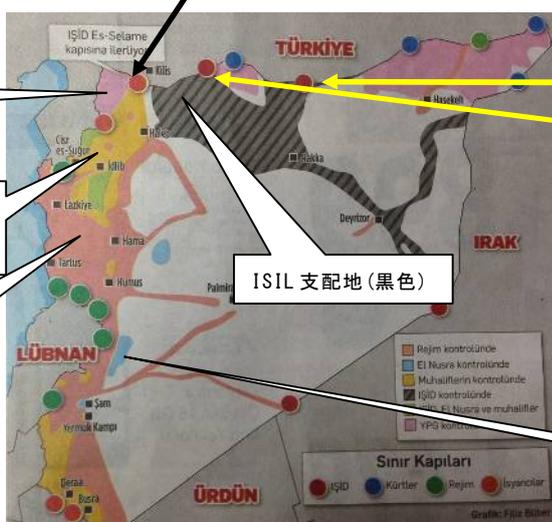
伝統的な CHP の支持基盤であり、同党の優勢は揺るがず。ただし、CHP 党内予備選挙の実施は党内の活性化に繋がったものの、賛否両方の議論を呼び、現状 7 議席から 1 議席上積みできるか微妙。AKP は郊外の有権者を中心に、MHP と HDP に票が流れている。HDP は、従来 CHP が強い海岸沿いの地域で勢いがある。(6 月 4 日付 M 紙 22 面他)

軍事

●ISIL トルコ、キリス県国境にも迫る

ISIL の武装勢力が、キリス県オンジュブナル国境のシリア側にある(シリア)アゼス市のエス・セラメに迫ってきており、この町を守る自由シリア軍とアル・ヌスラ戦線、クルド人勢力 PYD が協力して ISIL と戦闘している。すでにアゼス市の 4 つの町が ISIL に攻略された。この影響により、今後同トルコの国境には ISIL を逃れて、10 万人のシリア難民が押し寄せる可能性がある。

今回 ISIL との戦闘が行われている、キリス県国境直近のシリアのエス・セラメ



※既にトルコ国境沿いに IS の支配地は広がっている

トルコとシリアの 911 キロの国境線上にある 13 個の国境通過ポイントの内
■ 2ヶ所がアサド政権
■ 3ヶ所が IS
■ 5ヶ所が PYD(クルド人)
■ 1ヶ所が自由シリア軍
■ 2ヶ所がアルヌスラ戦線の支配地にある状態となっている。
(6 月 4 日付 C 紙 10 面)

ヌスラ戦線支配地(青色)

(記事内より)

(6月3日付 H 紙 1面)

●トルコ海軍艦隊が山口県下関市に寄港後、最終目的地和歌山到着。エルトゥール号追悼式典が挙行される。

(1)5月25日、和歌山県串本町を目指して就航中のトルコ海軍艦隊が、イスタンブールの姉妹都市である山口県下関市に寄港、安倍昭恵総理夫人らが出迎えるなどの友好イベントが行われた。トルコ地元紙、TV 等も大きく報道。



(同記事より) (5月26日付 HD 紙 4面)
(2)6月3日、同トルコ艦隊が最終目的地である和歌山県串本町に到着。同日同町内でエルトゥール号追悼式典が行われ、日本ト

※掲載内容は、トルコの新聞報道をまとめたものです。

ルコ協会総裁の彬子女王殿下やトルコ側からはチチェキ国会議長ら両国関係者約600名が参列した。式典で彬子女王殿下は、「先人の築き上げた友好の歴史に思いをいたし、両国の新たな歴史を紡いでいけたらと願います。」と述べられた。(同記事より)(6月4日付H紙等)



経済

●トルコへの直接投資、選挙後に大幅増加の期待

世界投資促進機関協会(WAIPA)のアイジャ総裁は、イスタンブール工業会議所(ISO)の月例総会において、選挙前の直接投資の減少は極めて普通であり、選挙後にトルコへの直接投資の大幅な増加が期待できると述べた。トルコへの直接投資は、2009年及び2010年には世界的な経済危機により85億ドルまで落ち込んだが、2011年には161億ドルまで増加。その後、3年連続で減少し、2014年は120億ドルであった。(5月29日付HD紙10面)

●観光部門、GDPの12%を占める

世界旅行観光協議会(WTTC)によると、2014年のトルコの観光部門のGDPは960億ドル。GDPに占める同部門の割合は12%で、世界平均の9.8%より高い。1990~2014年の間にトルコのGDPが110%拡大する中、同部門については256%拡大し、2014年にはトルコ国内で延べ210万人の雇用を支えた。(5月29日付HD紙11面)

●トルコ当局、Bank Asya 買収へ

5月29日、政府は、Bank Asyaの買収を決定。ババジャン副首相は、同決定については政治的なものではないと述べた。同銀行は、本年2月以降、トルコ預金保険機構(TMSF)の管理下に置かれていた。(5月29日付HD紙インターネット版、6月1日付HD紙11面)

●国際原子力機関(IAEA)報告書

昨年2月にトルコ政府にアックユ原子力発電所プロジェクトに関するIAEAの報告書が提出され、これまで公開されていない。これについて、1日、ユルドゥズ・エネルギー天然資源相は、国は全ての書類を報道機関に公表する訳ではない一方で、公表されていない全ての文書が秘密扱いという訳ではないと述べ、同報告書が秘密扱いであることを否定した。

IAEAは、同報告書において、アックユ原子力発電所プロジェクトに関して、トルコ政府による放射性廃棄物への長期的な取組や必要な施設管理等、政府や原子力発電所建設に関わる関係機関に対して、24項目に及ぶ勧告を行っているが、その殆どが満たされていない。(6月1日付HD紙11面、同2日付HD紙10面)

●5月の輸出、対前年同期比19%減少

トルコ輸出業者協会(TIM)によると、5月の輸出は、自動車業界のストライキと対ドル・ユーロ安等の影響により、

対前年同期比19%減少。直近12か月間で輸出額は、対前年比2.7%減の1517億ドル。自動車の輸出は対前年同月比27.4%減の15億ドルであったものの、自動車部門は輸出部門のトップを維持している。(6月2日付HD紙1面、10面)

●OECD経済見通し:2015年の経済成長率予想3.1%に修正
OECDは、最新の経済見通しで、2015年のトルコの経済成長見通しを3.2%から3.1%に下方修正した。総選挙に関する見通しの不確実性や、現在進行中の地域情勢などの地政学上の緊張が投資や消費支出を抑制していると分析。また、2015年から2016年にかけて経済成長率は徐々に上向くと予想されるが、上昇の程度はポテンシャルを下回るものになると予想し、2016年の成長見通しも4%から3.9%に下方修正した。(6月4日付HD紙10面)

●年間インフレ率、8.1%に上昇

3日、統計庁が公表したデータによると、5月時点での年間インフレ率は、前月の7.9%から8.1%に上昇。衣類の上昇率が10.06%と最も高く、食料及び飲料の物価は2.68%減少した。シムシェッキ財務相は、コア・インフレーション(変化の激しい食料やエネルギーを除いた物価上昇)のトレンドは良く、今後インフレ率は改善されるだろうと述べるとともに、食料価格が更に改善することに期待を示した。(6月4日付HD紙10面)

●5月の国内自動車販売台数、前年同期比40.3%増加

トルコ自動車工業会(OSD)が発表した5月の自家用自動車及び軽商業車の合計販売台数は、対前年同期比40.3%増加の8万1542台。自家用自動車は35.5%増で、軽商業車は59%増。販売台数の大幅な伸びは、主に昨年の販売台数が少なかったことによる。(6月4日付HD紙10面)

【参考論調】

●GDP低成長に関する考察

統計庁によると、建設部門における雇用が対前年同期比2.6%減少、工業部門では0.7%の減少となった。サービス部門では雇用が1.5%増加しているが、同部門において品質が低く輸出できない商品が主となっていることがトルコ経済における労働生産性低下の原因となっており、今年の経済成長率は3%を下回る可能性は十分に考えられる。(6月2日付Z紙6面、セイフェッティン・ギュルセル氏)

治安

【一般】

●MITトラック捜索時の画像をC紙が発表、政権は編集長をスパイ容疑で捜査

5月29日付ジュムヒュリエット紙は、2014年1月シリア国境沿いでMITのトラックを軍警察が捜索した事件について、捜索時の写真画像をスクープとして掲載。同画像には、武器とされるものが映し出されており、機関銃弾3万発、小銃弾5万発、ロケット砲弾1000発等が積載されていたとのこと。

これまで政府は、同トラックについて、シリアへの人道支援物資を運んでいたと主張していた。この報道を受けて政府側は、「この報道は、外国の諜報活動の一環である。」として猛反発し、報道直後に同紙編集長をスパイ容疑等で捜査を開始。ジュムフリエット紙側も強く反発し、政権と同紙の対立が激化している。

また、この報道を受けてダーヴトオール首相は、「積載物は、ISILに脅かされているシリア国内の少数派トルクメン

人への援助物資であった。」とコメントした。



(同記事より) (5月19日付 C 紙 1面)

●トルクメン人のリーダー、「トルコからの援助は受けていない。」

MITトラックが運んでいたのは、「シリア国内の少数派トルクメン人への援助物資であった」と政府が説明していることについて、シリア国内の有カトルクメン人リーダーの一人(匿名)は、インタビューに対し、「我々は過去 ISIL と戦ってきたが、トルコからの援助を受けたことはない。トルコ国境沿いのトルコ軍基地直近のトルクメン人の村が ISIL の虐殺にあった時すらトルコ軍は助けってくれなかった。一方で、ISIL の戦闘員達は簡単にトルコ・シリア国境を出入りしている。トルコは我々の敵なのか味方なのかも分からない状態である。トルクメン人の名前を出されることで、MIT のトラック問題というトルコ国内の政争、論争に我々は巻き込まれたくない。」など迷惑そうに述べた。(6月2日付 TZ 紙4面)

●統計庁の対シリア武器輸出報告書がスクープされる

トルコ国家統計庁によるシリアへの武器売却の公式報告がジュームフリエット紙のコラムニスト(チーデム・トケル氏)によりスクープされた。同記事によると、政府が否定するシリアへの武器輸出が明確に確認されたとのこと。統計庁によると、2013年から2014年にかけて、トルコは100万ドル相当の対空砲や様々な軍事物資をシリアに売却したが、売却先は明らかになっていない。しかし、政府のこれまでの反アサド政権の姿勢からシリア反体制派への武器援助とみられる。このスクープは、現政権の「シリア紛争にはどんな軍事援助もしていない。」という公式見解と明らかに矛盾するものとなっている。(6月4日付 Z 紙4面)

●ゲジ公園関連デモ2周年デモでタクシム広場と地下鉄タクシム駅閉鎖

5月31日、「タクシム連帯」により呼びかけられた「ゲジ公園再開反対活動2周年デモ」において、会場の一つとして指定されたゲジ公園は、現在集会禁止場所とされているため、警察当局はゲジ公園を封鎖した。また、周辺道路や地下鉄タクシム駅、カバタッシュ駅からタクシム駅をつなぐケーブルカーも閉鎖するなどして、同公園へのアクセスを制限した。

タクシム広場に入れなかった数百名がイスティクラル通りでデモ行進を行い、市内数ヶ所でも集会が開かれたが、大きな混乱は生じなかった。



(6月1日付各紙)

●ジュームフリエット紙が PKK 指導者にインタビュー

6月2日、ジュームフリエット紙は、同紙記者が PKK の本拠地である北イラク・カンディル山(イランの直ぐ西)において PKK 指導者ジェミル・バユク(KCK 共同代表)への独占インタビューを行った記事を掲載した。

ジェミル・バユクは、総選挙の見通しについて、「この国の民主主義のためには HDP が得票率10%を超え、議席を獲得することが重要。HDP は、南東部では優位を保っているが、AKP も確かに強い。」などと述べた。今回の選挙期間中のテロについては、「過去の選挙で PKK はテロを行ったが、結果として AKP の得票率が上がってしまった。そのため今回の選挙で PKK は全くテロを行っていない。今起きているテロは、AKP が過去の経験から、「テロが起きれば AKP の支持率が上がるだろう」と考え、自作自演でやっているものである。」などと述べた。(同記事より)

また、「今年4月11日に発生したアール県における軍車両に対する攻撃も我々の犯行ではないが、政権は我々のせいにした。」「AKP は今の政権を維持するため、国内を混乱に陥れることすらも考えているようだ。選挙後、AKP が軍や MIT を使って、我々を攻撃しようとしているとの情報を我々は入手している。」などと話した。

さらに、選挙後の情勢について、「AKP の単独与党は難しいであろうが、HDP は AKP と連立を組むことはない。」「実権型大統領制は民主主義が定着していないトルコにはまだ早い。」

「PKK は、どの政党が与党になろうとも和平を進めたい。」旨を述べた。

ISIL については、「ISIL を最も支援しているのがトルコであることを、我々 PKK は知っている。AKP 政権でなくなれば、ISIL の力も大幅に落ちる。」と発言した。



(6月2日付 C 紙12面、6月3日付 C 紙)

●**イスタンブールでDHKP/Cに対するオペレーション実施**
 6月3日早朝午前4時から、イスタンブール県警は、イスタンブール市内8ヶ所において、極左過激派組織 DHKP/C に対するオペレーションを実施。DHKP/C 関係者とみられる少なくとも21名（うち女性3名、未成年者2名を含む）が拘束された。（6月4日付 Z 紙6面）

【選挙関連】

●**副首相「AKP 選挙事務所への攻撃は96件」と反発**
 30日、アクドアン副首相は、「メディアはHDPに対する攻撃ばかり報道するが、この3週間で AKP の選挙施設等に対する攻撃は96件に及んでおり、最も攻撃されているのは AKP である。」と発言。（5月31日付 C 紙7面）

●**シャンルウルフア県で行方不明となっていた無所属候補発見、誘拐の疑い**
 5月30日からシャンルウルフア県において行方不明となっていた無所属候補が、6月3日にガジアンテップ県の高速道路上で保護された。同人は軽傷で、何者かに誘拐されていた模様。（6月4日付 M 紙インターネット版）

●**HDP 選挙カーが銃撃され、運転手死亡**
 3日、東部ピンギュル県において、選挙運動中の HDP の選挙カーが何者かに銃撃され、運転手が死亡。犯人は捕まっていない。（6月4日付 C 紙6面）

●**HDP の選挙カーが襲撃される**
 3日、アンカラ県ギョルバシュ市において、HDP の選挙運動中の車列が、複数名により投石や棒で襲撃された。けが人は無し。（6月4日付 C 紙6面）

社会

●**イズミット湾（キョルフェズ）の両岸が年末につながる**
 イスタンブール～ゲブゼーオールハンガーズィ～イズミル高速道路計画の最も重要な部分であるイズミット湾大橋の建設は、橋の入り口部分の高架橋が完成した。この橋は2,682メートルの長さで世界で4番目に長い吊り橋である。この橋が開通すれば、イスタンブール～イズミル間は3時間半で移動できる。（5月29日付 HT 紙20面）

●**交通違反集中取り締まりで5万4000人の運転手に違反切符**
 イスタンブールで、5月18日から24日にかけて交通違反集中取り締まりが行われた。この期間中、死亡事故1件、人身事故173件、物損被害事故344件の合計518件の交通事故が発生。

違反事由	件数
交通標識違反	9966 件
信号無視	6181 件
運転中の携帯電話使用	5635 件
シートベルト未装着	2249 件
速度違反	1734 件
法定乗車人数超過	780 件
緊急車両専用車線進入	655 件
飲酒運転	469 件
過積載	221 件
無許可車両による営業	25 件

（6月1日付 HT 紙23面）

●**エルトゥールル号125周年式典で記念潜水**
 6月3日、和歌山県串本町で、オスマン帝国の軍艦エルトゥールル号遭難事故125周年追悼式典が行われた。この式典にはトルコ海軍と在日トルコ大使館が参加し、自由潜水

の世界記録保持者、シャヒカ・エルジュメン氏がトルコ海軍の潜水士と共に記念潜水を行った。（6月4日 H 紙7面）



（6月3日付 AKTIF HABER インターネット版より）

●**アタキョイ沖埋め立て工事計画に反対**
 アタキョイ沖のサッカーコート 20 面に相当する埋め立て事業に反対の声が上がっている。トルコ建築協会は、地震発生による危険性を指摘するとともに、工事中止を求め提訴する準備があることを発表。バルクキョイ市長は、関係4省庁が工事許可を出しているが、工事に難色を示しており、また、海洋専門家も生態系破壊を懸念している。（6月3日付 HT 紙13面）

●**トルコで HIV 感染者が増加：合計 9300 人、昨年だけで 1700 人**

イスタンブール大学医学部教授は、世界における HIV 感染者は 3400 万人にのぼり、トルコ国内では昨年までで合計 9300 人が感染していると発表。一昨年の新規患者数は約 1,000 人であった一方で、昨年は 1,700 人に増加。この増加は若者が顕著であり、特にホモセクシャルの間で増加傾向にある。また、トルコ国内で増加しているシリア難民も不衛生な環境下で暮らしており、感染の危険性が指摘されている。（6月3日付 C 紙26面）

●**イスタンブールは最も観光客が訪れる都市世界 5 位**
 マスターカードが発表した、世界 132 都市を対象とした 2015 年観光都市指標で、今年最も観光客が訪れることが予想される都市として、イスタンブールがヨーロッパで 3 位、世界全体で 5 位にランクインした。イスタンブールは昨年、シンガポールやニューヨークを押さえて 7 位にランクインしていた。報告書によると、今年イスタンブールに訪れる観光客は約 1,260 万人と予測されており、昨年の 1,130 万人に対して 11.4% の増加率。これは上位 40 都市の中で最も高い数値となっている。

	都市	2015 年観光客数（予測）
1	ロンドン	1880 万人
2	バンコク	1820 万人
3	パリ	1600 万人
4	ドバイ	1420 万人
5	イスタンブール	1260 万人

（6月4日付 HT 紙13面）

●**エミノニューカラキョイ航路に3隻の新船が投入**
 イスタンブール大市は、ボスポラス海峡で運行されるエミノニューカラキョイ線で、3隻の新船を投入。新船の特徴は、接岸する際に船の先端からの乗降が可能で、船を岸に横付けする必要がなくなること。また、船内には大きなガラス窓や、ベビールームが完備され、ボスポラス海峡の強い海流や風にも耐えられる馬力を持つ。（6月4日付 HT 紙21面）

※掲載内容は、トルコの新聞報道をまとめたものです。

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	首相府緊急災害事態対応総局	ÖSB	PKKの防衛隊
AKP	公正発展党（現与党）	OIB	首相府民営化管理庁
BDDK	銀行監督庁	PKK	クルディスタン労働党
BDP	平和民主主義党（クルド政党）	PYD	シリア民主主義連合党
BOT	建設・運営・譲渡方式	RP	福祉党
CHP	共和人民党（最大野党）	RTÜK	ラジオ・テレビ高等機構
DEP	民主党	SNC	シリア国民評議会
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	SPK	証券取引監査院
DHMI	国家航空局	SSM	防衛産業庁
DISK	先進労働組合連合	TBB	トルコ弁護士協会/トルコ銀行協会
DTK	民主主義社会評議会	TCDD	トルコ国鉄
DTP	民主社会党	TDHB	トルコ歯科医師会
DYP	正道党	TESK	トルコ商工業連合
EDAM	経済外交政策センター	THY	ターキッシュ・エアラインズ
EPDK	エネルギー市場監督庁	TİKKO	トルコ労働者・農民解放軍
HDP	人民民主党（クルド政党）	TMMOB	トルコ・エンジニア・建築会議連盟
HSYK	裁判官・検事高等委員会	TOKİ	トルコ集合住宅開発局
İDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOMA	放水装甲車
İHH	人権・自由・人道支援団体	TPAO	トルコ石油公社
İKSV	イスタンブール文化芸術財団	TTB	トルコ医師会
İSO	イスタンブール産業会議所	TÜBİTAK	トルコ科学技術研究機構
İşİd	イラク・レバントのイスラム国（アルカイダ系）	TÜİK	トルコ統計庁
İTO	イスタンブール商工会議所	TÜPRAS	トルコ石油精製会社
KCK	クルディスタン共同体同盟（PKK系）	TÜSİAD	トルコ産業・実業家協会
KESK	公務員労働組合連合	TÜVİD	トルコ投資家関係協会
KRG	北イラク政府	YÖK	トルコ高等教育評議会
MHP	民族主義者行動党（野党）	YSK	選挙高等委員会
MIT	国家諜報機関		

注：本文中のニュースソースの略称は以下の通りです。

トルコ語新聞		英字新聞		通信社	
Akşam	A	Economist	EC	Anadolu News Agency	AA
Cumhuriyet	C	International New York Times	INYT	Agence France Presse	AFP
Haberturk	HT	Hürriyet Daily News	HDN	Cihan News Agency	CA
Hürriyet	H	Today's Zaman	TZ	Doğan News Agency	DA
Milliyet	M			Ihlas News Agency	IA
Posta	P			Interpress	IP
Radikal	R				
Sabah	S				
Taraf	T				
Vatan	V				
Zaman	Z				

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail：istanbulweekly@it.mofa.go.jp
 WEB：http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/index_j.html
 Facebook：http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslu

- トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。
- 新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。
istanbulweekly@it.mofa.go.jp

【イスタンブール県及び近郊県内邦人被害統計】

イスタンブール邦人被害統計								
2014.1.1～2015.6.4 ※総領事館に訴出があったものを集計								
年	窃 盗		詐 欺		ぼったくりバー(相談)		高額絨毯購入(相談)	
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週	通算
2014年		2件		4件		33件		5件
2015年	1件	4件	1件	2件	0件	7件	0件	2件

今週の発生認知事案概要

●偽警官による薬物検査を装った窃盗未遂事件 5月31日夕刻、レバントのショッピングモール・カンヨン付近で、邦人が警察官を名乗る私服の男に声をかけられ、身分証らしいものを見せられた上、薬物所持検査の名目でバックと財布内の検査を実施された。その際、男が財布から現金を抜き取るのを見ていた周囲にいたトルコ人が男を捕まえ警察に突き出し、未遂に終わった。(男は自称パキスタンまたはアフガニスタン人と述べていた。)※・偽警察官が偽札や薬物検査名目で財布から現金を盗む事件は以前から散見されています。・当地の警察官がこのようにいきなり財布の提示を求めるとはまずあり得ません。もし、提示を求められた場合は、まず相手の身分を確認(トルコの私服警察官は「Polis」と書かれた写真入りのカード式身分証明書又は銀色のバッジを持っています)した上で、総領事館に連絡を取るよう求めるか、警察署がホテル等のロビー、あるいは総領事館内でなら捜査に応じると、毅然とした態度で対応してください。

※掲載内容は、トルコの新聞報道をまとめたものです。

●スキミング被害事件カード会社からの連絡でカリフォルニアで 200 ドル以上の身に覚えのない使用の連絡が入り、不正使用に気づく。レストランでカードを使用した際に、カードをレジまで持って行かれたことがあり、その際スキミングされた可能性あり。※・現在カードデータを盗む手法は、スキミング以外にも個人情報の流出を含め様々な手口があるので、一概にレストラン等で支払いの際にスキミングされたとは断定できません。しかし、スキミング被害も散見されますので、「カードは目の前でスキャナー等に通してもらい」、「毎月の明細で身に覚えのない請求がないか、こまめにチェックすることを忘れない」ようにしましょう。

★当館 HP 更新のお知らせ★

●[バルタリマヌ日本庭園「春のこども祭り」開催報告（6/4）](#) **NEW**

●[治安速報：イスタンブール（05/28）](#) **NEW**

●[国外転出時課税制度の創設について（06/03）](#) **NEW**